

香川県感染症週報

2014年第52週・2015年第1週は、2015年1月9日に発行します。

2014年第51号(26/Dec/2014 発行)

Infectious Disease Weekly Report Kagawa

Reported by Infectious Disease Information Center Kagawa

◆ 2014年第51週(12/15~12/21)の感染症発生動向(届出数)

■ 全数把握感染症の発生状況

1 類感染症・3類感染症・4類感染症 なし

2類感染症 結核(高松 3件、中讃 1件)

5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌感染症(小豆 1件)、侵襲性肺炎球菌感染症(西讃 1件)、梅毒(中讃 1件)

■ 定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたり的人数による

○ インフルエンザ流行注意報が発令されました。

こまめな手洗いや、咳がある場合はマスクを着用するなど咳エチケットを守りましょう。

2014年第51週の感染症発生動向調査による報告患者総数は1263人で、前週(788人)の160.3%となった。

1. インフルエンザの報告は、県全体(5.2→**15.0**)で急増しており、注意報レベル(**10**)を超えた。地区別では、高松地区(5.8→**19.7**)、中讃地区(8.4→**18.9**)及び西讃地区(2.9→9.9)で急増している。警報レベルの開始基準値(30)

2. 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告は、県全体(9.4→8.4)で減少している。他の地区より報告の多かった西讃地区(**14.8**→**13.0**)でも減少している。

感染性胃腸炎は、西讃地区(**15.0**→**13.5**)で減少したが、警報レベルは第45週より継続している。終息基準値(12)

3. RSウイルス感染症の報告は県全体(3.8→4.1)で増加している。報告の多かった西讃地区(7.5→9.5)でも増加している。

インフルエンザ流行注意報発令

感染症予防の基本は、手洗いです。

◆ 今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	全県	高松市	小豆	東讃	中讃	西讃
① インフルエンザ	15.0人	5.2人	289.6%	1.7人	4.6人	○↑	○↑	○↗	○↗	○↑	○↑
② 感染性胃腸炎(ウイルス)	8.4人	9.4人	89.4%	11.6人	11.3人	○↘	○→	○↘	○↗	○↘	◎↘
③ RSウイルス感染症	4.1人	3.8人	108.2%	3.5人	2.2人	○↗	○↘	○↗	○→	○↗	○↗
④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.7人	2.3人	114.9%	1.8人	1.0人	○↗	○↗	・↘	△↘	△↘	○↗
⑤ 突発性発しん	0.6人	0.4人	138.5%	0.4人	0.6人	△→	△↗	△↗	△↗	△→	△→

記号の説明 今週の流行状況: ◎流行(警報レベルに達している) ○やや流行 △散発 ・患者発生報告無し

前週との比較: ↑急増 ↗増加傾向 ↘減少傾向 ↓急減 →横ばい ・報告無し

◆ 病原微生物検出情報

細菌	検出方法	検出数	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	備考
<i>Non-typable H.influenzae</i> (NTHi)	培養・抗血清	1	血液	H26.12.8	中讃	肺炎・菌血症	

ウイルス	検出方法	検出数	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	備考
Adenovirus 1	PCR+シーケンス	1	咽頭	H26.11.27	高松市	咽頭結膜熱	※1
Adenovirus 2	PCR+シーケンス	1	咽頭	H26.11.1	東讃	咽頭角結膜炎	※2
Adenovirus NT	PCR	1	咽頭	H26.10.26	東讃	上気道炎	※3
Adenovirus NT	PCR	1	咽頭	H26.10.27	東讃	咽頭角結膜炎	※3
Coxsackievirus B2	PCR+シーケンス	1	咽頭	H26.11.9	東讃	上気道炎	※4
Echovirus 11	PCR+シーケンス	1	髄液	H26.11.13	高松市	発熱	※5
Echovirus 18	PCR+シーケンス	1	髄液	H26.11.22	東讃	髄膜炎	※6
Enterovirus NT	PCR	1	糞便	H26.11.26	高松市	急性小脳失調症	
Enterovirus NT	PCR	1	咽頭	H26.12.1	東讃	上気道炎	
Human metapneumovirus	PCR	1	咽頭	H26.12.1	中讃	ヒトメタニューモウイルス感染症	
Influenza virus A H3	リアルタイムPCR	1	咽頭	H26.12.12	高松市	インフルエンザA型	

※1 再報告(50週 Enterovirus NTで報告分)

※2 再報告(46週 Enterovirus NTで報告分)

※3 細胞培養(Vero-RD18s)より

※4 再報告(49週 Enterovirus NTで報告分)

※5 再報告(49週 Enterovirus NTで報告分)

※6 再報告(49週 Enterovirus NTで報告分)

◆ 定点医療機関からのコメント

○西岡医院(高松市):RSウイルス 2名、インフルエンザA型 49名、カンピロバクター・病原大腸菌 ○25 へろ毒素(-) 混合感染 1名、サルモネラ 1名○佐々木小児科医院(高松市):病原大腸菌 ○1 へろ毒素(-) 1名、病原大腸菌 ○111 へろ毒素(-) 1名、RSウイルス 2名、溶連菌 1名、インフルエンザA型 25名○永井小児科医院(高松市):アデノウイルス 3名、RSウイルス 10名、インフルエンザA型 66名○三好医院(東

